

令和 2 年 5 月 12 日

生徒のみなさんへ

大阪市立加美南中学校

生徒指導主事 上山 力輔

『いじめについて考える日』に知ってもらいたいこと

昨日 5 月 11 日は『いじめについて考える日』を予定していました。

そんな日だからこそ知ってもらいたいことを文章にします。どうか、最後までしっかりと読んでください。

いじめが人に与えること

人間の脳は、「ヘビの脳」「ネコの脳」「知恵の脳」という 3 つの部分からできているといえます。

「ヘビの脳」とは、脳幹(のうかん)のことで息を吸ったり、ものを食べたり、眠ったりする命令を出すところです。ヘビやトカゲなどの爬虫類にある脳なのでこの呼び名があります。

「ネコの脳」とは、旧皮質(きゅうひしつ)のことで喜んだり、悲しんだりする感情面を支える脳のことでネコや犬など哺乳類にあるのでこの名がついています。

「知恵の脳」とは、新皮質のことで人間だけにある脳で考えたり、言葉を話したりする働きをするところです。

いじめを受けるとこの 3 つの脳の中の「ヘビの脳」の働きが弱ってくることが科学の進歩で分かってきました。だから、ものを食べたくなくなったり、眠れなかったりしてきます。そして、最後には生きていく意欲が次第に弱くなっていきます。

だから、人をいじめるということはその人の「ヘビの脳」の働きを弱め、その人の食欲や生きようという意欲を奪ってしまう行為ともいえます。

愛する人をいじめで奪われた人のことを考えたことがありますか

愛する家族がいじめられることを想像できますか

人をいじめるという最も卑劣な行為は絶対にやめましょう